

井上靖の「小磐梯」—災害とその後世

高原に立った煙～軽井沢文学と災禍～

そのとき青森は
—県内文芸誌編集室より—

3.11

大地と海がゆれるとき
—福井ゆかりの作家が描いた地震—

天災地変と詩歌

仙台荒浜の「潮音」詩碑

文学にみる震災資料展

関東大震災と川端康成

3.11後の文学
復興と創生の足跡

司馬遼太郎と阪神淡路大震災

天災地変と文学

晶子とスペイン風邪②
—未来への希望—

アララギ歌人と関東大震災

藤原正彦エッセイコンクール入賞作品で
ふりかえる震災とコロナ禍

言葉は風化せず寄り添うのみ

森鷗外文学に見る天変地異／
平成25年津和野町豪雨災害の記録

森鷗外と明治・大正の災害

西日本豪雨災害を伝える絵本
『ブラザーズドッグ』原画展

吉村昭が記した災害
—「闇を裂く道」北伊豆地震と関東大震災—

震災を書く

山頭火と9月1日

災害の記憶を風化させないために

二つの大震災と文学

実篤と2度の震災

菊池寛と疫病

文学と天災地変
～鎌倉と関東大震災～

上林暁の書いた南海トラフ地震

神奈桃村日記に見る関東大震災

天変地異と文学—3.11からコロナ禍まで

熊本地震 震災の記憶と復興エール

この全国文学館協議会の共同展示は、二〇一一年三月一日の東日本大震災を契機に開催されました。死者に対する鎮魂と被災者への慰謝を願う心から、当時の会長中村稔氏の提案に賛同した文学館が二〇一三年三月一斉に展示を始めました。

東日本大震災は、地震・津波に加えて、福島原子力発電所のメルトダウンによる放射能汚染が深刻な影響を多方面に与えました。汚染水の処理も今だにコントロールできず、廃炉の具体的な方策も進捗していません。

苛酷な体験をした人は口を閉ざし、十年経って少し語り出しました。指が一本ない死者、そこにあつたはずの指輪はない。肉親を捜し廻った折の腐敗していく死臭など映像にも映らない。この様な忌むべき記憶を、人は消し去ろうとします。そうでなくても記憶は時間に洗われて変容し、忘却されていきます。

三・一一以来、この十年間日本列島は自然の猛威に晒され、想定外を常套語とする人災も加わり、復興途上の東北地方は再度のダメージを被りました。

顧みればこの国は二〇一四年九月御嶽山噴火、二〇一六年四月熊本地震、二〇一八年七月西日本豪雨、二〇一九年一〇月台風一九号で死者・不明者を多数出し、建物の全壊や床上浸水、加えて貴重な文化財、文献資料、農林水産業等計り知れない被害を受けました。

多くの表現者が天災地変を直視し、無念な思いで死んでいった死者に代わり、また残された人の哀しみに寄り添い、多彩な表現を紡ぎ出してきました。それらの表現を収集し、展示をし、保存していくことも文学館の使命であると考えます。

ここに全国文学館協議会の各館は、この未曾有の大災害を直視し、記録に留め、死者たちへの鎮魂と哀悼、被災者への慰謝と地域の復興を願って、この十年間、共同展示を開催してきました。今年度が最後の共同開催となります。

表現者と向き合うことで死者の声を聴き、表現者の思いを受け止め、災害を語り継いでいってほしいと念じております。どうぞゆっくりご鑑賞下さい。

二〇二二年一月

全国文学館協議会 2021 年度共同展示 3.11 文学館からのメッセージ

この全国文学館協議会共同展示は、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災を契機に開催されました。

死者に対する鎮魂と被災者への慰謝を願う心から、

当時の会長中村稔氏（詩人・弁護士）の提案に賛同した文学館が 2013 年 3 月に一斉に展示を始めました。

第 10 回目を迎える本年は全国 30 の文学館で開催いたします。

	館名	企画名	開催期間	所在	電話番号
北海道	井上靖記念館	井上靖の「小警備」―災害とその後世	3/1(火)～3/31(木)	北海道旭川市春光5条7丁目	0166-51-1188
青森	青森県近代文学館	パネル展「そのとき青森は一県内文芸誌編集室より」	2/22(火)～3/23(水)	青森県青森市荒川字藤戸119-7 (青森県立図書館2階)	017-739-2575
岩手	日本現代詩歌文学館	天災地変と詩歌	3/1(火)～3/31(木)	岩手県北上市本石町2-5-60	0197-65-1728
宮城	仙台文学館	文学にみる震災資料展	2/25(金)～4/3(日)	宮城県仙台市青葉区北根2-7-1	022-271-3020
福島	いわき市立草野心平記念文学館	3.11後の文学 復興と創生の足跡	3/1(火)～3/31(木)	福島県いわき市小川町高萩字下夕道1-39	0246-83-0005
	郡山市こおりやま文学の森資料館	天災地変と文学	3/11(金)～3/27(日)	福島県郡山市豊田町3-5	024-991-7610
群馬	群馬県立土屋文明記念文学館	アララギ歌人と関東大震災	2/26(土)～3/21(月)	群馬県高崎市保渡田町2000	027-373-7721
	水と緑と詩のまち 前橋文学館	言葉は風化せず寄り添うのみ	3/5(土)～3/21(月)	群馬県前橋市千代田町3丁目12-10	027-235-8011
東京	文京区立森鷗外記念館	森鷗外と明治・大正の災害（パネル展示）	3/1(火)～4/17(日)	東京都文京区千駄木1-23-4	03-3824-5511
	吉村昭記念文学館	吉村昭が記した災害―「闇を裂く道」北伊豆地震と関東大震災―	3/1(火)～4/20(水)	東京都荒川区荒川2-50-1 (ゆいの森あらかわ内)	03-3891-4349
	日本近代文学館	震災を書く	3/5(土)～3/26(土)	東京都目黒区駒場4-3-55	03-3468-4181
	新宿区立林芙美子記念館	災害の記憶を風化させないために	3/1(火)～3/31(木)	東京都新宿区中井2-20-1	03-5996-9207
	調布市武者小路実篤記念館	実篤と2度の震災	3/5(土)～4/17(日)	東京都調布市若葉町1-8-30	03-3326-0648
神奈川	鎌倉文学館	文学と天災地変～鎌倉と関東大震災～	3/5(土)～4/10(日)	神奈川県鎌倉市長谷1-5-3	0467-23-3911
山梨	山梨県立文学館	神奈桃村日記に見る関東大震災	3/8(火)～3/31(木)	山梨県甲府市貫川1-5-35	055-235-8080
長野	軽井沢高原文庫	高原に立った煙～軽井沢文学と災禍～	3/1(火)～4/12(火)	長野県北佐久郡軽井沢町長倉202-3	0267-45-1175
福井	福井県ふるさと文学館	ブローグゾーン特集展示 「大地と海がゆれるとき―福井ゆかりの作家が描いた地震―」	2/18(金)～4/10(日)	福井県福井市下馬町51-11 (福井県立図書館内)	0776-33-8866
岐阜	藤村記念館	仙台荒浜の「潮音」詩碑	3/1(火)～3/31(木)	岐阜県中津川市馬籠4256-1	0573-69-2047
大阪	茨木市立川端康成文学館	関東大震災と川端康成	3/2(水)～3/31(木)	大阪府茨木市上中条2-11-25	072-625-5978
	司馬遼太郎記念館	司馬遼太郎と阪神淡路大震災	1/8(土)～3/27(日)	大阪府東大阪市下小阪3-11-18	06-6726-3860
	与謝野晶子記念館	パネル展「晶子とスペイン風邪②―未来への希望―」	2/16(水)～3/14(月)	大阪府堺市堺区宿院町西2丁目1番1号 (さかい利晶の杜内)	072-260-4386
兵庫	姫路文学館	パネル展 「藤原正彦エッセイコンクール入賞作品でふりかえる震災とコロナ禍」	3/1(火)～3/31(木)	兵庫県姫路市山野井町84	079-293-8228
島根	森鷗外記念館	森鷗外文学に見る天変地異／平成25年津和野町豪雨災害の記録	3/1(火)～4/10(日)	島根県鹿足郡津和野町田イ238	0856-72-3210
岡山	吉備路文学館	企画展「西日本豪雨災害を伝える絵本『ブラザーズドッグ』原画展」	3/6(日)～5/29(日)	岡山県岡山市北区南方3-5-35	086-223-7411
山口	山頭火ふるさと館	山頭火と9月1日	1/15(土)～3/13(日)	山口県防府市宮町5番13号	0835-28-3107
	中原中也記念館	二つの大震災と文学	3/1(火)～3/27(日)	山口県山口市湯田温泉1-11-21	083-932-6430
香川	菊池寛記念館	菊池寛記念館コレクション展 菊池寛と疫病 ～3.11文学館からのメッセージ～	2/1(火)～4/3(日)	香川県高松市昭和町1-2-20	087-861-4502
高知	上林暁文学館	上林暁の書いた南海トラフ地震	3/1(火)～4/30(土)	高知県幡豆郡黒潮町入野6931-3	0880-43-2110
福岡	北九州市立文学館	天変地異と文学―3.11からコロナ禍まで	3/1(火)～3/31(木)	福岡県北九州市小倉北区城内4-1	093-571-1505
熊本	くまもと文学・歴史館	熊本地震 震災の記憶と復興エール	3/11(金)～5/23(月)	熊本県熊本市中央区出水2丁目5-1	096-384-5000

展示の詳細、休館日、開館時間、アクセス等につきましては、各館にご確認ください。